

(2) 数学の学力の現状

① 全国標準診断的学力検査（NRT）の結果からみた中学生の学力

（平成7年県教育センター調査 数値は％）

大領域	全 県 正解率	全国比	中 領 域	全 県 正解率	全国比
数 と 式	44.6	97	文字式の四則計算	64.4	103
			数量関係の文字式による表現と活用	36.0	95
			不等式の意味とその利用	32.1	92
			連立一次方程式とその利用	35.1	92
数 量 関 係	29.7	83	資料を集め整理し傾向を知ること	29.0	88
			数の表現方法と適切な使用	36.1	86
			1次関数	29.5	81
図 形	55.3	87	平行線の性質や三角形の合同など	70.1	89
			図形の相似	37.1	85

- ・ ほぼ全領域にわたって全国より正解率が低い。
- ・ 中領域の中で、特に「1次関数」と「図形の相似」が弱点である。
- ・ 1次関数では、1次関数の表、グラフ、式の相互の関連の理解が弱い。
- ・ 図形の相似では、平行四辺形や相似な図形の性質の理解と活用が弱い。

② 全国的な業者テストの結果からみた高校生の学力

A社高1学力テスト（平成7年7月実施）から

	小問集合	2次関数	式 の 値	2次関数	個数の処理	式 の 値	合 計
本県平均得点率	63.6	26.4	44.0	26.4	17.2	46.4	41.1
全 国 比	94	93	92	86	100	102	93

A社高2学力テスト（平成8年7月実施）から

	小問集合	確 率	2次関数	三角関数	図形と方程式	整 列	ベクトル	複素数	合 計
本県平均得点率	52.5	28.5	33.0	23.0	16.5	22.0	12.5	39.0	31.7
全 国 比	100	100	90	85	89	98	81	99	96

- ・ ほぼ全領域にわたって全国より正解率が低い。
- ・ 2次関数、三角関数などの関数分野が最も得点率が低く弱点である。
- ・ 図形と方程式やベクトルなどの図形分野も弱点である。